

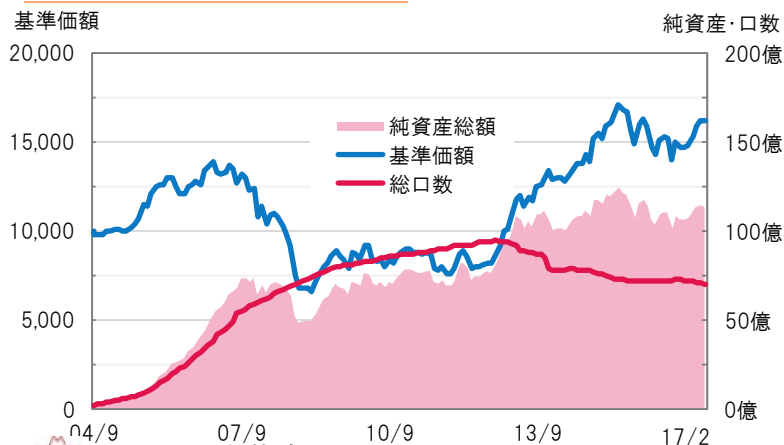
2017
3月

ありがとうファンド 月次運用レポート

第151号②【基準日 2017年2月28日】



基準価額の推移



ファンドの情報

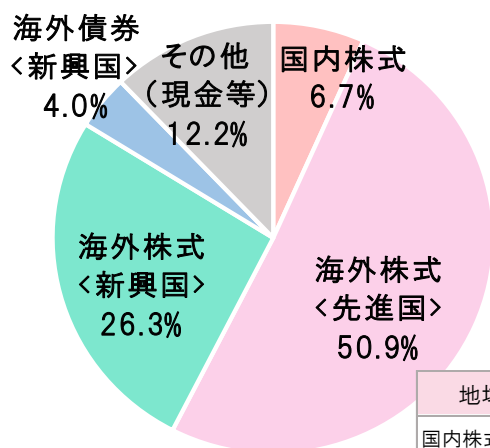
基準価額	16,200円
純資産総額	114億06百万円
口座数	4,766
積立割合	55.9%

ファンドの騰落率

ファンド/参考指数	1ヶ月	6ヶ月	1年	3年	5年	設定来	年率複利	標準偏差
ありがとうファンド	+0.1%	+10.3%	+13.1%	+24.4%	+86.5%	+62.0%	3.93%	17.8
TOPIX配当込み	+0.9%	+16.7%	+20.9%	+34.7%	+103.9%	+69.5%	4.31%	22.7
MSCI ACWI (世界、円)	+2.2%	+16.6%	+21.7%	+28.3%	+111.2%	+149.8%	7.60%	22.3
MSCI KOKUSAI (日本除く先進国、円)	+2.4%	+17.0%	+21.0%	+29.7%	+125.5%	+160.9%	7.97%	23.6
MSCI EM (新興国株、円)	+2.4%	+14.3%	+28.8%	+15.4%	+38.1%	+202.2%	9.25%	26.3

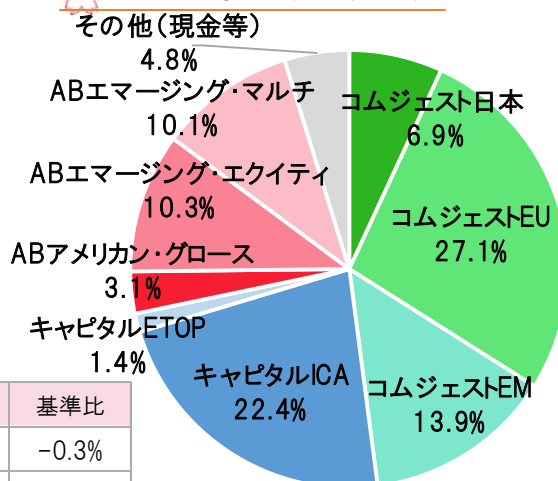
※「年率複利」は、過去の実績値であって将来の成績を保証するものではなく、またお客様ごとの購入時期によって運用結果は異なります。「年率複利」と「標準偏差」については、ありがとうファンド設定来(2004年9月1日)からのデータを基に、弊社にて計算しております。参考指数(円ベース)の騰落率についてはファクトセットよりデータを参照し、弊社にて計算しております。(レポート最終ページに注記があります。)

資産配分(1月末時点)



地域・資産	組入比率	基準値	基準比
国内株式	6.7%	7%	-0.3%
海外株式<先進国>	50.9%	60%	-9.1%
海外株式等<新興国>	30.3%	28%	+2.3%
その他(現金等)	12.2%	5%	+7.2%

ポートフォリオ(2月末時点)



ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

直近のマーケット動向、ありがとうファンドについて



2月のマーケットはどうでしたか？

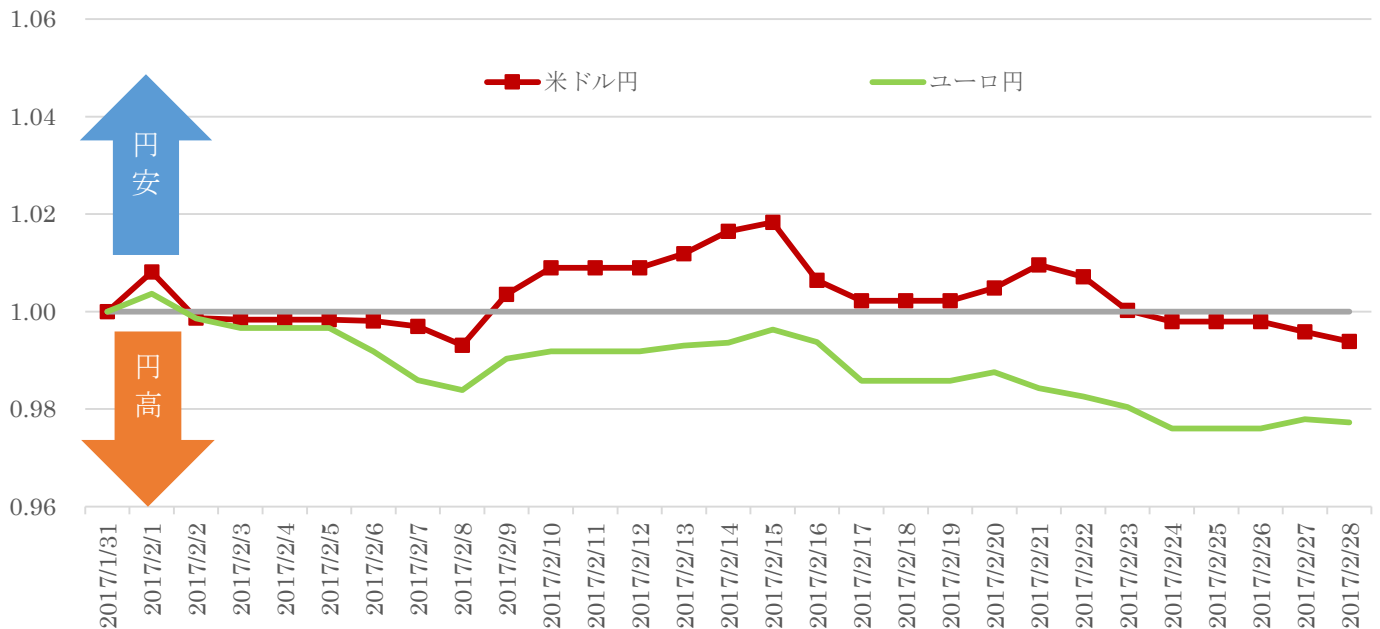
2月のマーケットの動きですが、引き続き米国株式市場が牽引する1ヶ月になりました。月序盤にトランプ大統領が法人税改革について驚異的なプランを発表するとしてことから、期待先行で米国株を中心に上昇しました。日本株式市場においても、同時期に日米首脳会談が難なく終えたことから上昇しましたが、さらなる円安への懸念は払拭しきれず、その後は横ばいもしくはやや調整気味の相場が続きました。中盤では、フランス大統領選を巡り、リスクオフ気運が高まったことから、世界株式市場はやや上値の重い展開になりました。月後半では、トランプ大統領の議会演説を月末に控えていたこともあり、調整相場になりました。

月間の騰落率としては、TOPIX(配当込み)は0.94%の上昇、米国S&P500(配当込み)はドルベースで3.97%の上昇、欧州MSCIヨーロッパ(配当込み)はユーロベースで2.94%の上昇、新興国MSCIエマージング(配当込み)はドルベースで3.07%の上昇となりました。

為替相場は月末時点で、米ドル/円が111円台、ユーロ/円が118円台となり、前月末比対米ドル、対ユーロ共に円高にふれました。



【米ドル円、ユーロ円推移】2017年1月31日を1として指数化

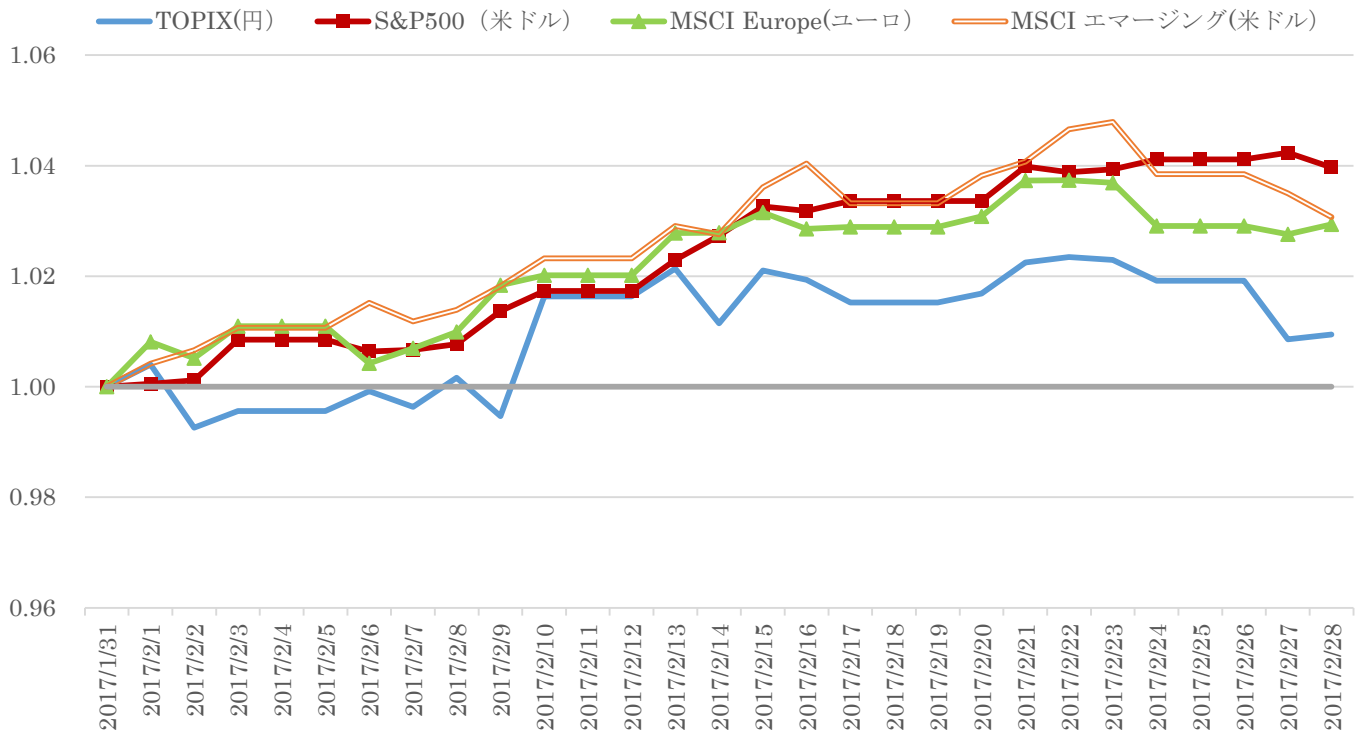


※ ファクトセットよりデータを参照し、弊社にて指数化しております。(レポート最終ページに注記があります。)

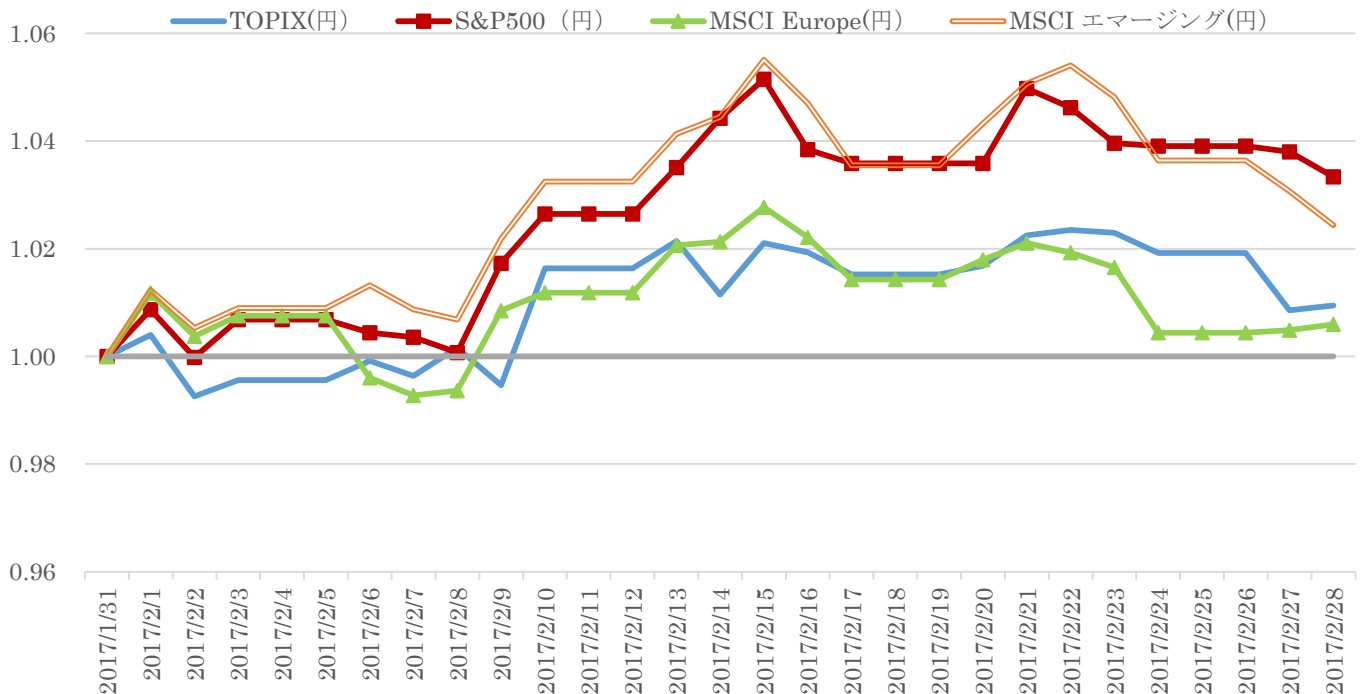
ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

【主要株式指数推移(配当込、現地通貨ベース)】2017年1月31日を1として指数化



【主要株式指数推移(配当込、円ベース)】2017年1月31日を1として指数化



※ ファクトセットよりデータを参照し、弊社にて指数化しております。(レポート最終ページに注記があります。)

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

上記現地通貨ベースの指数推移を参照して頂くと、日本株のパフォーマンスが他地域に比べ相対的に低調にみえます。世界株式市場が上げ相場であっても、日本株式市場においてはドル円の水準が意識され、上値の重い一か月でした。



ありがとうファンドの運用はどうでしたか？

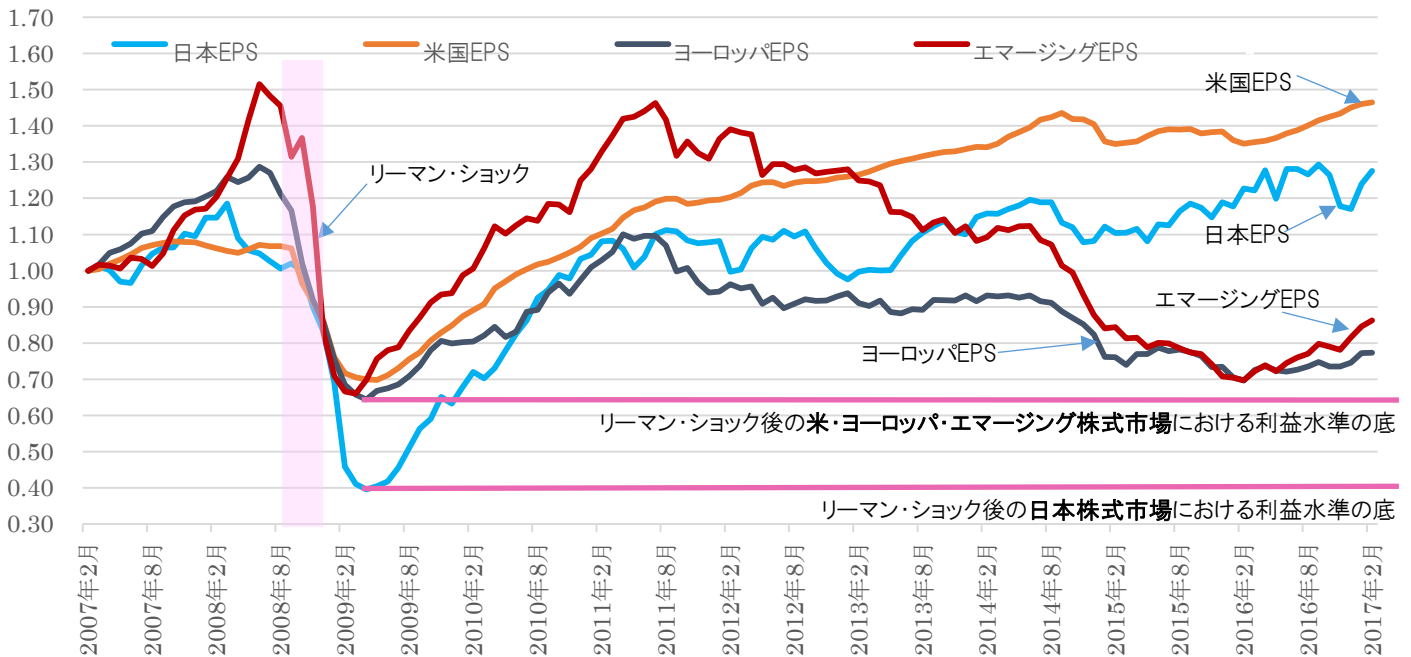
ありがとうファンドの2月間騰落率は0.1%の上昇となりました。投資先ファンドでは、ABアメリカン・グロースファンド、エマージング市場に投資している全4ファンドが各種参考指数(円ベース)に対しアウトパフォームしました。

2月中の売買状況については、国・地域別配分新基準値を意識して、やや保有割合が多めになっていたエマージング市場を投資対象とするコムジェストエマージングファンドとキャピタルETOPファンドを一部売却しました。



今後の見通しはどうなりそうでしょうか？

今後の見通しについては、トランプ大統領の動向に一喜一憂するのではなく、あくまでも長期投資の視点からファンダメンタルズの改善に基づいた企業利益の成長に沿った成長銘柄が見直される相場になると考えております。下図では、リーマン・ショック前からの4国・地域のEPS(1株当たり利益)の水準をまとめました。足元5年ほど低迷していたエマージング市場と、ヨーロッパ市場は活気を取り戻しつつあります。こういった大きな流れはトランプ相場と言われる流行ものではないと考えております。



出所：ファクトセットよりありがとう投信計算、EPSは2007年2月末を1として指数化

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。



今後の運用方針はどうなりそうでしょうか？

今後の運用方針についてですが、世界経済は Brexit、トランプ大統領の選出、イタリア国民投票の結果などを見るに、保護主義・ポピュリズムが台頭して、大きな変革期にあるように見えます。株式市場という観点から考えると、リーマン・ショック後、各国・地域は金融緩和で各々の経済・株式市場を支えて、各市場同じ方向に動く局面が多く見られましたが、保護主義が色濃くなってきた昨今では、ある意味各市場同士の相関が薄れ、分散効果が見られるようになってきました。このような環境下では、一つの市場だけに投資することは非常にリスクが高いと考えますので、特定の市場に偏ることなく幅広く分散投資することで、長期的に持続性のあるリターンを享受できると考えております。その点、ありがとうファンドでは引き続き国際分散を推し進めることにより、世界経済の変革期に対応していきたいと考えております。

また、投資対象のファンドという観点からは、去年後半から金融関連銘柄といった景気敏感株の株価上昇が目立ちましたが、当ファンドではあくまでも長期投資を前提とし、長期で企業利益成長が見込まれる銘柄を発掘するファンドを厳選して投資を続けていきたいと考えております。投資対象国・地域についても、前ページのEPS 推移が示しているように、長く低迷していたエマージング市場、ヨーロッパ市場の企業利益改善にも注目しており、今後長期で伸びしろのある市場と考えております。



ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

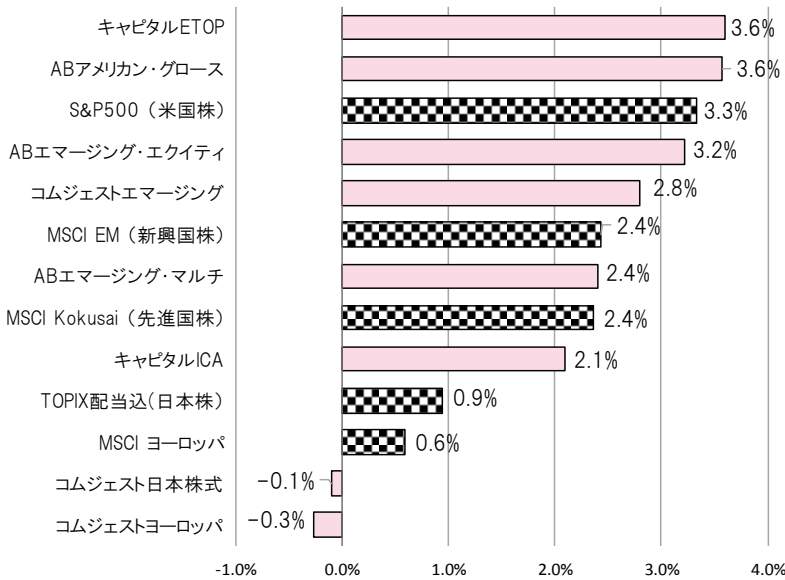


投資先ファンドの状況について教えてください。

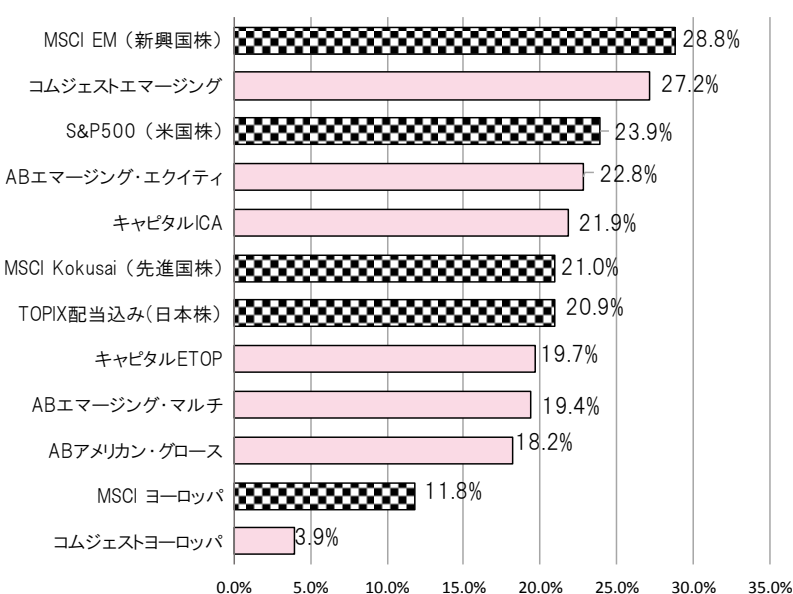


まずは下の投資先ファンドの月間と年間の騰落率(円ベース比較)をご覧ください(2017年2月28日時点)

【月間騰落率】



【年間騰落率】



※ 上記参考指数(円ベース)の騰落率についてはファクトセットよりデータを参照し、弊社にて計算しております。(レポート最終ページに注記があります。)

月間騰落率については、ABアメリカン・グロースファンドとエマージング市場を投資対象とする全4ファンドが参考指数(円ベース)に対しアウトパフォームしました。特にコムジェストエマージングファンドでは保有割合の多い中国銘柄NETEASE(網易)の決算内容が好感され大きく上昇しました。(決算発表前日比で約14%以上の上昇となりました)同社は中国でのオンラインゲーム、ポータルサイト、無料メールの運営などを主な事業としており、自社開発の新モバイルゲームのヒットが今回の好決算に貢献しました。

年間騰落率については、去年の今頃は原油安などからの資源銘柄安、またマイナス金利導入直後で銀行をはじめとする金融銘柄などの景気敏感銘柄が大きく下げて、一方足元のトランプラリーでは、そういった景気敏感株が買い戻された相場になったため、景気敏感株をほとんど保有しない当ファンドの年間騰落率は景気敏感も含む指数に対し低調なパフォーマンスになりました。

マーケットが楽観的な時も悲観的な時も、長期投資はじっくりコツコツ続けていくことが大切です！時間を味方につけて、一緒に国際分散投資で資産運用していきましょう！何かご不明な点がございましたら、お気軽に弊社までお問合せください。(ありがとうファンド運用担当者)



投資先ファンドの運用パフォーマンス

#	投資先ファンド	主要投資地域	組入比率	1ヶ月	6ヶ月	1年	3年	5年	年率複利(5年)
1	コムジエスト日本株式	日本	6.9%	▲0.1%	+11.4%				
	TOPIX 配当込み			+0.9%	+16.7%	+20.9%	+34.7%	+103.9%	+15.3%
2	ABアメリカン・グロース	米国	3.1%	+3.6%	+16.5%	+18.2%	+50.5%	+172.3%	+22.2%
3	キャピタルICA (キャピタルUSGI)注	米国	22.4%	+2.1%	+17.1%	+21.9%	+38.6%	+142.4%	+19.4%
	S&P500 (米国、円)			+3.3%	+19.0%	+23.9%	+48.4%	+166.3%	+21.6%
4	コムジエスト ヨーロッパ	欧州	27.1%	▲0.3%	+5.1%	+3.9%	+11.9%	+101.7%	+15.1%
	MSCI EUROPE (ヨーロッパ、円)			+0.6%	+12.4%	+11.8%	+1.3%	+78.8%	+12.3%
5	コムジエスト エマージング	エマージング	13.9%	+2.8%	+13.7%	+27.2%	+24.3%	+62.7%	+10.2%
6	ABエマージング ・エクイティ	エマージング	10.3%	+3.2%	+15.8%	+22.8%			
7	ABエマージング ・マルチ	エマージング	10.1%	+2.4%	+13.5%	+19.4%	+26.3%	+45.6%	+7.8%
8	キャピタルETOP	エマージング	1.4%	+3.6%	+15.4%	+19.7%	+12.5%	+44.2%	+7.6%
	MSCI EM (新興国株、円)			+2.4%	+14.3%	+28.8%	+15.4%	+38.1%	+6.7%

注1: 参考指数(円ベース)の騰落率についてはファクトセットよりデータを参照し、弊社にて計算しております。(レポート最終ページに注記があります。)

注2: キャピタル USGI ファンドは 2016 年 6 月 17 日(投資先現地日付)をもって ICA ファンドに統合されましたので、2016 年 6 月 17 日より前の ICA ファンドの基準価額は存在しません。よって上記の運用パフォーマンスは 2016 年 6 月 17 日以降の ICA の基準価額を統合時点の両ファンドの基準価額で換算し、2016 年 6 月 17 日より前のキャピタル USGI ファンドの基準価額と比較できるよう調整をしています。

積立投資のメリット

- ◆ 取得単価を平準化
- ◆ 時間分散でリスクを低減
- ◆ 長期で投資を継続しやすい

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

各投資先ファンドの組入銘柄 TOP5

◎コムジェスト日本株式ファンド

マザーファンド株式組入上位5銘柄					2月28日時点
銘柄	国	業種	事業内容	組入比率	
1 キーエンス	日本	情報技術	FA(ファクトリーオートメーション=工場自動化)用センサーをはじめとする各種センサー、測定器、画像処理機器、制御・計測機器、研究開発用解析機器などの開発、製造、販売を行う。	4.6%	
2 ファナック	日本	資本財・サービス	工作機械などに搭載されるCNC(コンピューター数値制御)装置の世界トップシェアメーカー。	4.4%	
3 ダイフク	日本	資本財・サービス	立体自動倉庫やコンベヤなど、搬送・仕分け・ピッキング・保管に用いられるマテリアルハンドリング(=マテハン)システム・機器のメーカーで、世界でもトップクラスのシェアを持つ。	4.0%	
4 ファーストリテイリング	日本	一般消費財・サービス	カジュアル衣料専門店「ユニクロ」をグローバルに展開する。近年はアジアなど海外での店舗数拡大を加速	4.0%	
5 シスメックス	日本	ヘルスケア	血液検査、免疫血清検査、尿検査、生化学検査等に必要の機器・試薬や、これらに関連するソフトウェアなどの研究開発から製造・販売・サービス & サポートまで手がける臨床検査の総合メーカー。	3.6%	

◎ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ・ファンドSA

マザーファンド株式組入上位5銘柄					2月28日時点
銘柄	国	業種	事業内容	組入比率	
1 INDITEX	スペイン	一般消費財・サービス	日本ではZARAで有名、世界のファッションアパレルのリーディングカンパニーの一つ	6.6%	
2 AMADEUS IT GROUP SA	スペイン	情報技術	旅行予約管理からチェックインなどのプロセス管理まで旅行業に特化したトラベルテクノロジー企業	6.0%	
3 ESSILOR INTERNATIONAL	フランス	ヘルスケア	光学製品メーカー、世界56か国に展開、遠近両用レンズのVariluxで有名	5.4%	
4 DASSAULT SYSTEMES SA	フランス	情報技術	フランスで最大、EUでもトップ3に入る規模の大手ソフトウェア会社	5.2%	
5 COLOPLAST-B	デンマーク	ヘルスケア	1957年にデンマークで誕生したグローバルヘルスケア企業、スローモーション製品に強み	4.6%	

◎ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット・ファンドSA

マザーファンド株式組入上位5銘柄					2月28日時点
銘柄	国	業種	事業内容	組入比率	
1 TAIWAN SEMI CONDUCTOR-SP ADR	台湾	情報技術	世界最大の半導体専業ICファンドリーメーカー	5.0%	
2 CHINA LIFE INSURANCE CO-H	中国	金融	中国北京に本社を置く生命保険会社、中国各地に代理店網を形成	4.9%	
3 NETEASE INC ADR	中国	情報技術	オンラインゲームやインターネットサービスを手掛ける。オンラインゲーム事業、広告サービス事業、電子メール・無線付加価値サービス・その他事業の3事業を展開。	4.9%	
4 POWER GRID CORP OF INDIA LTD	インド	公益事業	インド内での送電事業、電気通信事業、送電通信コンサルティング事業を主とする企業	4.1%	
5 INFOSYS LTD-SP ADR	インド	情報技術	グローバル企業を対象に、コンサルティング、テクノロジー、アウトソーシングなどを通じて、顧客のビジネス・パフォーマンスを高めるためのソリューションを提供している。	3.6%	



弊社はありがとうファンド1つのみ!

お客様のペースに併せて

長期でじっくりお客様の資産を育てていきます



ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

◎キャピタル・グループCA(旧キャピタル・グループ・USグロースアンドインカム ファンド クラスZ)

株式組入上位5銘柄					1月31日時点
	銘柄	国	業種	事業内容	組入比率
1	AbbVie	アメリカ	ヘルスケア	研究・開発に重点的に取り組むバイオ医薬品会社。幅広い独自医薬品の発見、開発、製造、販売を行う。	4.1%
2	AMGEN	アメリカ	ヘルスケア	DNA組換えや分子生物学的技術を軸とした世界的バイオ医薬品メーカー	2.9%
3	PHILIP MORRIS INTERNATIONAL INC	アメリカ	生活必需品	世界180カ国以上でマール・ポロなどの製品を販売する最大のたばこメーカー	2.6%
4	VERIZON COMMUNICATIONS	アメリカ	電気通信サービス	世界最大級の電気通信事業者、150カ国以上に展開、NYダウ30採用銘柄	2.2%
5	Amazon	アメリカ	一般消費財	オンラインの小売事業者。オンライン広告や提携クレジットカード契約など、他のマーケティングや販売促進サービスも提供する。	2.1%

◎キャピタル・グループ・エマージング・マーケット・トータル・オポチュニティーズ クラスZ

組入上位5銘柄					1月31日時点
	銘柄	国	種類	債券格付け、事業内容など	組入比率
1	BRAZIL GOVERNMENT	ブラジル	債券	格付BB	5.7%
2	ARGENTINA GOVERNMENT	アルゼンチン	債券	格付B	5.3%
3	UNITED MEXICAN STATES	メキシコ	債券	格付A	5.1%
4	INDIA GOVERNMENT	インド	債券	無格付	4.7%
5	RUSSIA GOVERNMENT	ロシア	債券	格付BB	4.3%

◎アライアンス・バーンスタイン・アメリカン・グロース・ポートフォリオ クラス受益証券

組入上位5銘柄					1月31日時点
	銘柄	国	種類	事業内容	組入比率
1	ALPHABET, INC.	アメリカ	テクノロジー	グーグルの新たな持株会社として、2015年10月2日に設立された。新運営体制におけるグーグルのメイン事業(グーグル事業)には、検索、広告、地図、アプリ、YouTube、Android(アンドロイド)および関連技術インフラが含まれる。	7.5%
2	FACEBOOK, INC. Class A	アメリカ	テクノロジー	SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス=交流サイト)の「フェイスブック」を運営。利用者は、「フェイスブック」を利用することで、家族や友人と情報を共有したり、コミュニケーションをとることができる。	6.9%
3	VISA, INC. Class A	アメリカ	金融サービス	グローバルなペイメント(決済)テクノロジー会社。高速かつ安全、信頼性の高い電子決済で消費者、企業、銀行、政府、地域を結び役割を果たす。	5.5%
4	BIOGEN, INC.	アメリカ	ヘルスケア	多発性硬化症(MS)、その他自己免疫疾患、神経変性疾患、血友病の治療薬の発見、開発、製造、販売に注力する世界的バイオテクノロジー企業。	4.5%
5	HOME DEPOT, INC.	アメリカ	一般消費財	建築資材やホームインブループメント(住まいを良くするための)製品を販売するホームセンター。豊富な種類の各種建築資材、ホームインブループメント製品、芝生&ガーデニング用製品を販売するほか、多くのサービスを提供する。	4.5%

◎アライアンス・バーンスタインSICAV I -エマージング・マーケット・エクイティ・ポートフォリオ クラス株式

組入上位5銘柄					1月31日時点
	銘柄	国	種類	事業内容	組入比率
1	SAMSUNG ELECTRONICS CO., LTD.	大韓民国	情報技術	電子機器やコンピュータ関連製品の製造・販売を手掛ける。事業部門は、民生エレクトロニクス、IT(情報技術)・移動体通信、デバイス・ソリューションの3つ。	4.6%
2	ITAUSA INVESTIMENTOS ITAUSA	ブラジル	金融	サンパウロ証券取引所に上場している持ち株会社・コンゴロマリット。関連企業としては、金融業、建設業、化学製品・石油製品を営む企業などがある。	4.4%
3	OPT BANK PLC	ハンガリー	金融	60年以上もの間ハンガリーの銀行部門における重要な役割を担っており、1989年からは複合的な商業銀行として業務を行っている。複数の子会社を通してグローバルな金融サービスを提供している。	3.4%
4	KB FINANCIAL GROUP INC.	大韓民国	金融	KB国民銀行、KB国民カード、KB 投資証券、KB生命、KB資産運用などの子会社を通して、総合的金融サービスを提供する持株会社。	3.0%
5	LUKOIL PJSC	ロシア	エネルギー	ロシア最大級の石油会社。石油の探鉱、生産、精製、マーケティング、流通に従事している。	2.9%

◎アライアンス・バーンスタインSICAV I -エマージング・マーケット・マルチアセット・ポートフォリオ クラス株式

組入上位5銘柄					1月31日時点
	銘柄	国	種類	債券格付け、事業内容など	組入比率
1	BRAZIL GOVERNMENT	ブラジル	債券	格付BB	2.7%
2	KINGBOARD CHEMICAL HOLDINGS LTD.	香港	加工業	化学メーカー。子会社を通じ、ラミネート、銅箔、ガラス布、ガラス糸、さらしクラフト紙、プリント回路基盤、その他化学製品を製造する。	2.1%
3	JIANGSU EXPRESSWAY CO. LTD. Class H	中国	資本財	有料高速道路の投資、建設、運営、管理を手掛ける。付帯サービス部門では、道路沿いで、ガソリン供給、食品、飲料、自動車修理、宿泊施設、小売りといったサービスを手掛ける。	2.1%
4	CHONGQING RURAL COMMERCIAL BANK CO. LTD. Class H	香港	金融	銀行業務と金融サービスを提供。コーポレートバンキング部門、パーソナルバンキング部門、トレジャリーオペレーション部門の3部門を通じて事業を展開。	2.1%
5	NOVOLIPETSK STEEL PJSC	ロシア	素材	垂直統合型の鉄鋼メーカー。建設、機械製造から、発電設備、海上風車メーカーまで、さまざまな業種で使用される各種平鋼・長尺鋼製品を製造する。	2.0%

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

ありがとうトピックス

『10-12月決算発表を迎えて…』

ありがとう投信株式会社
ファンドマネージャー 真木 喬敏



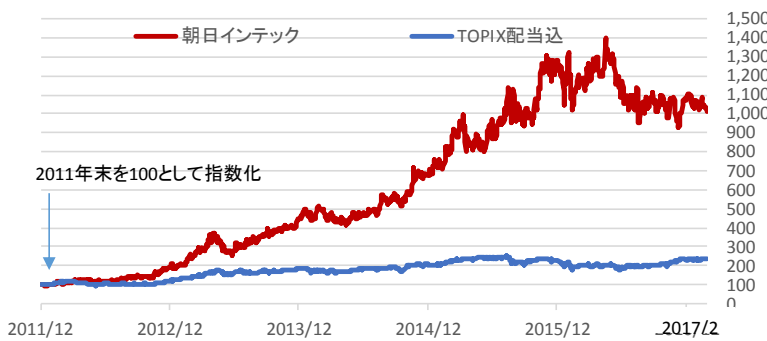
皆様、いつも大変お世話になっております。さて今月は10-12月決算発表が大体終わりましたので、投資先ファンド組み入れ銘柄の中から3銘柄を選び、直近決算発表の内容について説明させていただきます。

■日本市場銘柄：朝日インテック株式会社

▽投資先ファンド：コムジェスト日本株式ファンド

▽第2四半期決算発表：2017年2月10日

▽企業概要：カテーテル治療用製品(ガイドワイヤー)のリーディング企業



国別の売上高:グローバル規模での収益基盤の強化

Revenue Exposure By Country			
Total LTM Revenue: ¥40.0B			
	% of Tot. Rev.	% Chg (Y/Y)	3 Yr Trend
Japan*	43.8	-4.8	
United States	21.5	33.8	
Mainland China	9.0**	-0.4	
Germany	2.5**	2.7	
United Kingdom	2.1**	12.8	
France	1.8**	1.2	
India	1.8**	-3.2	
Italy	1.3**	0.4	

*Country of Domicile | Showing up to 8 of 248 countries | GeoRev data as of Jun '16
**Value is estimated based on FactSet's proprietary algorithm



出所:会社資料、ファクトセット

出所:ファクトセット、データは2016年6月時点

▼決算ポイント：2年に一度の国内医療製品の償還価格下落や円高の影響があるにもかかわらず、上期の営業利益(7-12月期)は前年比3.4%の増益を達成しました。為替影響を除くと、20%の営業増益。貫通カテーテル「SASUKE」などの新商品が好調であることに加えて、既存商品によるマーケットシェア拡大が続いています。また、今年度から中国ビジネスでは複数代理店制に変更しており、上期の中国向け売上は、円ベースで前年比37%を達成しています。

▼同社の注目ポイント：優れたワイヤー製造技術に基づき、PTCA(経皮的冠動脈形成術)治療に用いるガイドワイヤーをはじめとする魅力的な医療製品を有しており、これらの高い競争力を有する製品を中国・欧州・米国などの海外に拡販することによるグローバルマーケットシェアの拡大に期待しております。また、2018年にアボット社との米国内での販売提携契約が切れるタイミングで、自社販売に切り替えた場合、米国内でのさらなるマーケットシェアの拡大も期待できます。

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

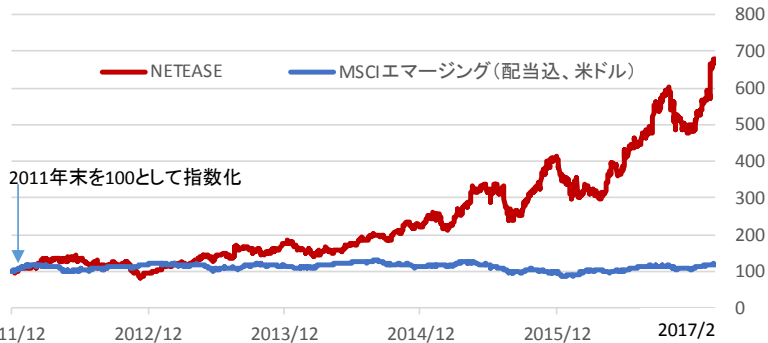
このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社で作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

■エマージング市場銘柄：NETEASE(網易) (中国)

▽投資先ファンド： ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット・ファンド SA

▽本決算発表： 2017年2月15日

▽企業概要： ポータルサイト、オンラインゲーム、無料メールの運営会社

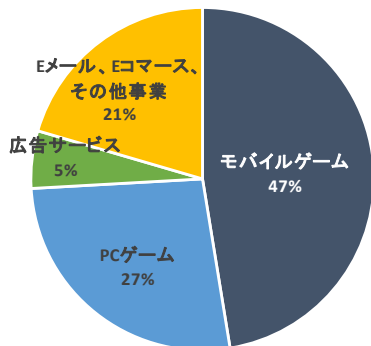


出所：会社資料、ファクトセット

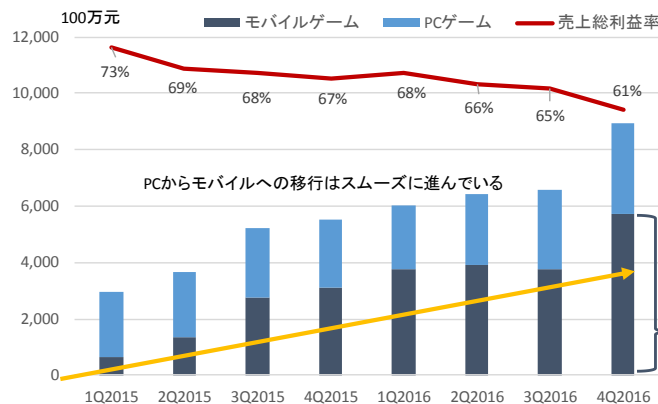
▼決算ポイント： 売上総利益率は低下したものの、その他指標は全て期待を上回る非常に魅力的な決算を発表。自社開発の新モバイルゲームの「Onmyoji」、「Ghost」、Blizzard のライセンスゲームの「Overwatch」のヒットが貢献。ゲーム収入のうち、モバイル経由が64%を占めるようになった。(以前はインターネットがメインだった)同社は2017年は2016年より広告収入の増加が予想されるが、全体としてはここ数年の成長が急速だったことから減速が予想されると発表。

▼同社の注目ポイント： 強い顧客基盤(ゲーム)、フリーメール等を介したオンライン広告に強み。インターネット、スマートフォンの普及・使用量の増加から恩恵。オンライン広告の普及にも期待。

●部門別売上高(4Q2016)

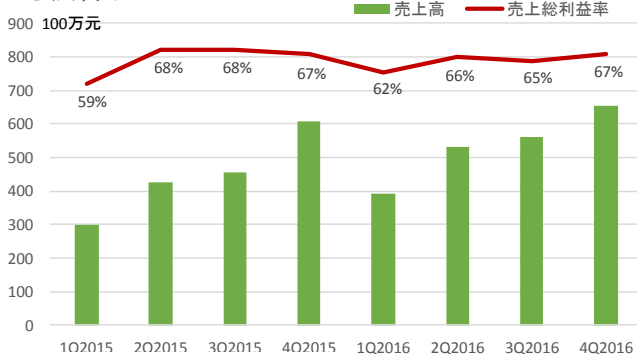


●オンラインゲーム

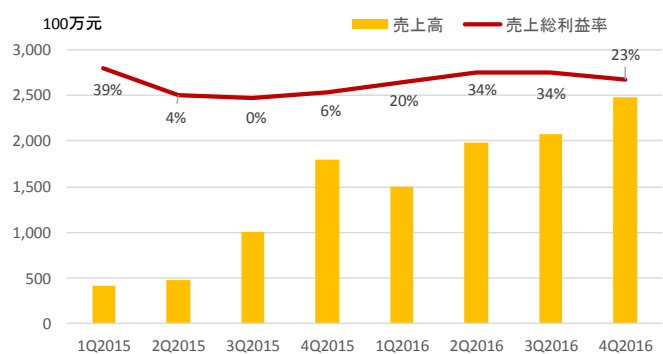


直近モバイルゲームの割合はオンラインゲーム売上高全体の64%まで伸びている

●広告サービス



●メール、Eコマース、その他事業



出所：会社資料より、ありがとう投信作成

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

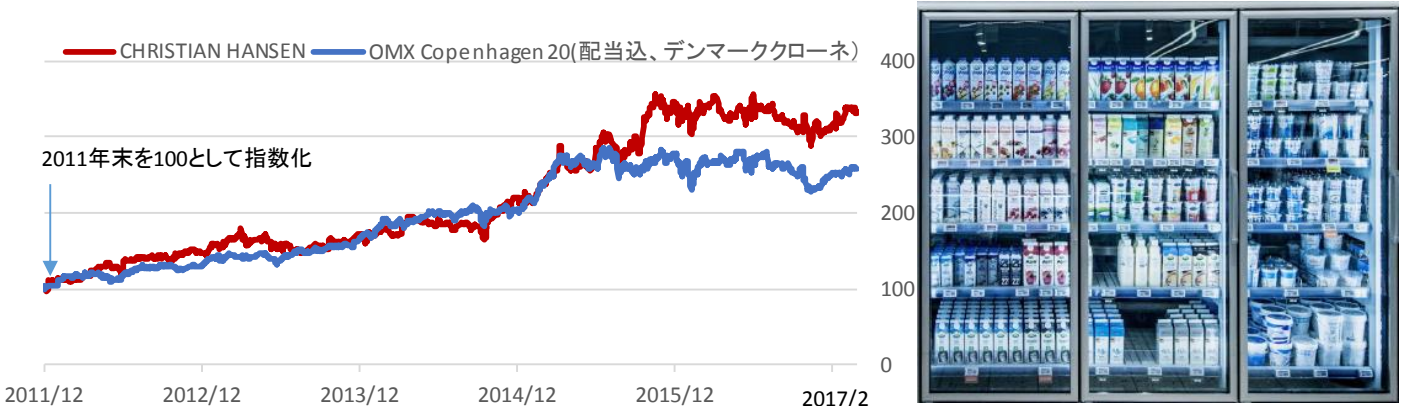
このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

■ヨーロッパ市場銘柄: CHRISTIAN HANSEN HOLDING (デンマーク)

▽投資先ファンド: ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ・ファンド SA

▽第1四半期決算発表: 2017年1月11日

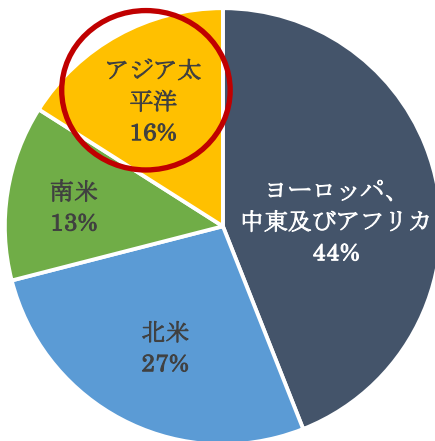
▽企業概要: 自然食品原材料、医薬品、バイオテクノロジー製品の開発・製造に従事



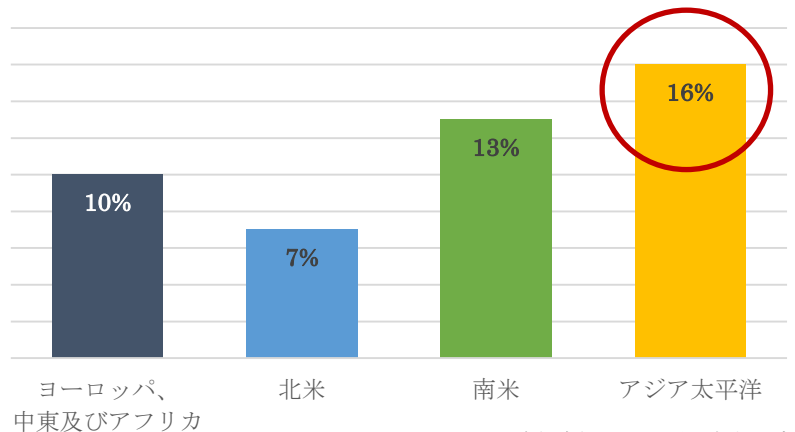
出所: 会社資料、ファクトセット

▼決算ポイント: 前年同期比オーガニックセールス(M&A などを買収した企業などの売上を含めない自社本業の売上高)11%増加、営業利益も改善。特に収益の16%を上げているアジア地域ではオーガニックセールスが16%増と伸びが大きかった。中国でのプロバイオティクス(人体に良い影響を与える微生物、善玉菌)を含んだはっ酵乳製品の販売増が貢献した。

地域別売上高



オーガニックセールス
成長率 (前年同期比)



出所: 会社資料より、ありがとう投信作成

▼同社の注目ポイント: 世界の健康志向の高まり、R&D(研究開発)のアウトソース需要の取り込みから恩恵(乳酸菌食品(ヨーグルト、チーズ等)やサプリメントに菌を供給している)



出所: 会社資料



ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

◆記載内容について：資料に記載されている個別の銘柄・企業については、あくまでも参考として申し述べたものであり、その銘柄又は企業の株式等の売買を推奨するものではありません。

ありがとうファンドのリスク及び手数料等について

リスク	当ファンドは、ファンドオブファンズであり、国内外の投資信託証券などの値動きのある証券に投資します。また、外貨建て投資信託証券に投資する場合には為替の変動もあります。なお、投資信託証券の組入証券の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、価額が下落し、損失を被ることがあります。したがって、ご投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本が割り込むことがあります。ファンドに投資することに伴うリスクはお客様のご負担となりますし、ファンドへの投資による損益も全てお客様に帰属します。また元本及び利息の保証はなく、預金保険の対象でもありません。
手数料	申込手数料・換金手数料・信託財産留保金はありません。
信託報酬	ファンド純資産総額に年 0.972% (税抜 0.9%) の率を乗じて得た額とします。 [実質的信託報酬 信託財産の純資産総額に対し年 1.7% ± 0.25% (概算)] ※当ファンドは他のファンドを投資対象としており、投資対象ファンドにおける所定の信託報酬を含めてお客様が実質的に負担する信託報酬を算出しております。
その他費用	当ファンドに組み入れるファンドを売買する際に発生する売買委託手数料およびこれにかかる消費税相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。 ※実費の額は、今後組み入れファンドの追加や変更があった場合、変動してくるものであるため事前に料率、上限額等を表示することができません。

※リスク・費用等の詳細につきましては、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。目論見書のご請求は、ありがとう投信(株)カスタマーサービス部まで。【〒110-0005 東京都台東区上野 3-19-4 フリーコール 0800-888-3900】

【レポートで使用している指数の注記】騰落率は、FACTSETよりデータを参照し、弊社にて計算しております。

TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。S&P500種指数(S&P500)に関する著作権、知的財産権、その他一切の権利はS&P Dow Jones Indices LLCに帰属します。MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI に帰属します。

